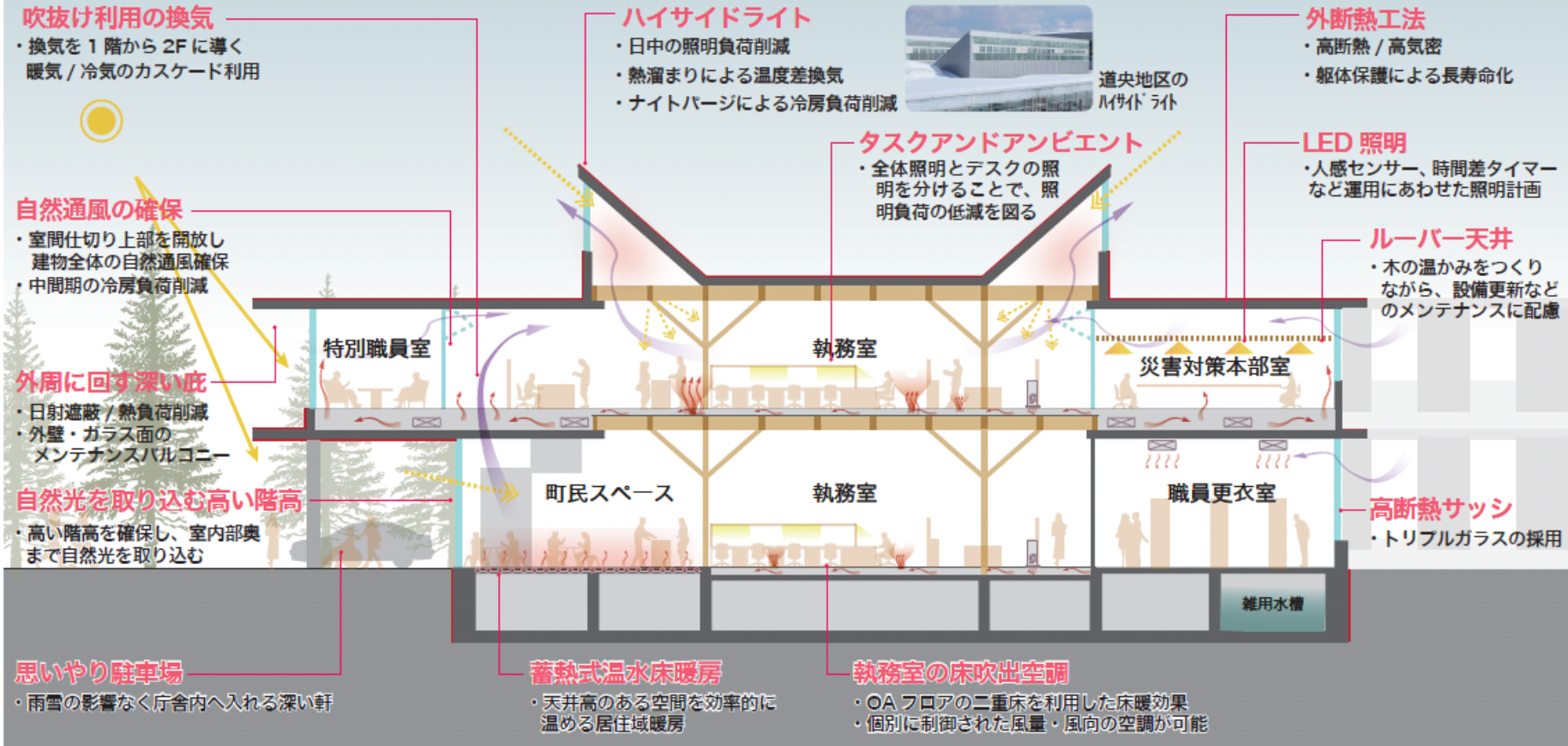


## 04. 「高い環境性能とコスト抑制」について

・環境負荷の小さな複合庁舎

### ■断面イメージ



### 庁舎の環境性能を高める

新しい複合庁舎では、消費エネルギーの少ない建築を目指し、将来の負担をできるだけ小さくすることを目指します。そのために、建築の性能を高めて津別の自然環境に応じた暖房、冷房、照明エネルギー削減を行います。

**暖房エネルギーの削減：**寒さの厳しい津別において消費エネルギーの多くを占める暖房エネルギーを小さくするために、コンクリート躯体の外断熱、高断熱サッシ（トリプルガラス）とし、気密性に配慮した詳細設計を行います。

**冷房エネルギーの削減：**室内の内部間仕切り壁上部を開放させるなどして自然通風を十分確保し、春・秋の冷房利用時間を縮減します。

**照明エネルギーの削減：**比較的日照時間が確保できることを活かし、1階はやや高い階高を確保して外周から自然光を取り入れ、また2階はハイサイドライトと外周部からの光を確保します。執務スペースは、タスクアンドアンビエントを検討し、全体として照明エネルギーの削減を目指します。夏の暑さ対策に備え、外周部の庇で日射遮蔽を行います。

### 将来にわたる消費エネルギーの管理

消費エネルギーの目標値として、ZEB Ready 相当を目指します。そのために、設計、施工段階に関与したメンバー（町・北総研・設計・施工など）が中心になって、竣工後も定期的に消費エネルギーの内容について検討し、建物運用の指針を話し合う仕組みを提案します。エネルギーの実績値について確認できるシステムを設計に盛り込みます。